



大豆の育て方

～大豆ポットの内容～

- ・ 鉢
- ・ 青色テープ … 土（2種類の土が入っています）
- ・ 赤色テープ … 肥料（有機・化成肥料）
- ・ 黄緑色テープ … 追肥用肥料（7月中旬に使う）
- ・ 黄色テープ … 大豆の種
- ・ ビニール袋

～子供たちが用意するもの～
500mlのペットボトル・レジャーシート

<p>5月中旬～ 6月上旬</p> <p>種まき</p>		<p>レジャーシートを敷き、ビニール袋の中に青色テープの土と赤色テープの肥料を一緒に入れてよくかき混ぜる</p>
		<p>よくかき混ぜた土を鉢の中に半分入れます。残りの土はビニール袋にそのままいれて保管しておく。後で土寄せのときに使います。</p> <p>鉢の中の土を平らにならし、中央に1つの穴をあける。穴の深さは2～3cmです。その穴の中に3粒大豆の種を入れ、土でふさぎます。</p>
		<p>種をまいた鉢を、大豆を育てる場所に移動し、ペットボトルの口を少しふさぐようにして鉢に水をかけます。水の量は500mlです。（水かけの時に種が洗い出されないように気をつけましょう。）</p> <p>鉢は日当たりが良く、風通しのよいところに置きましょう。</p> <p>できる限り花壇のような土の上に置きましょう。</p>
<p>5月下旬 ～6月中旬</p> <p>発芽</p>		<p>種まき後の水かけは、表面が乾いても中の土が湿っているようなら水かけは不要です。軽く掘って中の土が乾いているようなら水をあげましょう。</p> <p>種まき後1週間～10日くらいで芽がでます。</p>

<p>6月上旬 ～6月下旬 間引き</p>		<p>双葉が開き、次の本葉が見えた頃に、元気そうな2本を残し「間引き」を行います。種まきから2週間後くらい。</p>
<p>6月上旬 ～下旬 土寄せ</p>		<p>種まきから3週間後くらいに、土寄せを行います。残しておいた土を全部鉢の中に入れます。</p>
<p>7月中旬 ～7月下旬 追肥</p>		<p>種まきから2ヵ月後に追肥用の肥料を土の上にまいて下さい。</p>
<p>5月～9月 水遣り (重要)</p>		<p>7月、8月は特に大豆が水をたくさん欲しがります。水遣りを忘れないように気をつけましょう。 土の表面が乾いたら、鉢の底から水がしみ出てくるくらい、たっぷり水をあげましょう。 きちんと水をあげると順調に育ちます。</p>
<p>7月中旬 ～8月上旬 紫色の花が 咲く</p>		<p>順調に育つと花をつけるのがこの頃です。写真は大豆の花です。</p>
<p>8月上旬 ～8下旬 さやがつく</p>		<p>小さな「さや」ができ、だんだん大きくなります。「さや」の中では大豆の実がだんだんふくらんで大きくなります。 この頃には実が大きくなるために水がたっぷり必要になります。</p>
<p>9月中旬 ～下旬</p>		<p>収穫前ですが暑い日には水分が不足になります。水遣りを忘れないようにしましょう。 この時期になると葉がだんだん黄色くなります。</p>

10月上旬
～下旬



葉が枯れ落ち始め、さやを振ってみてさやの中の実がカサカサと音をたてるようになってきたら収穫です。
根元から折って2週間くらい陰干しにします。
鉢の中の根を観察してみましょう。



出来あがり！

乾燥したらさやの中から大豆の実を取り出しましょう。
自分で育てた大豆がようやく収穫できると喜びもひとしおです。
豆腐作りにチャレンジ!!